

(令和2年11月24日)

< ワンポイントレッスン (実践) >  
(マーケットタイミング指標・その2)

マーケットタイミング指標・その1は「順位相関底値圏銘柄比率」でした。今回は「移動平均乖離銘柄比率、13週・±15%基準、同±20%基準。26週も同様の基準。東証第一部市場上場銘柄数に占める上記基準に該当した銘柄数の割合です。

最近ではマーケットのボラティリティが小さくなっているので、この指標が20%、30%を超える極面はあまり見られませんが、上記基準4種類の内13週・±15%を時事エクイティに掲載、毎週更新していますので、マーケットが大きく動いた際にご確認下さい。結構感覚的なものと一致する指標ですが、数値かつ過去のデータと比較することが可能なので、統計データをベースに冷静に判断できると思います。

今年、2月28日～4月3日(いずれも週末日付、以下同じ)まで下方に基準越え、5月29日～6月2日に上方への基準越え。9月18日に上方に小さな山を形成しました。

(13週移動平均乖離銘柄比率・東証第一部)

